

10/1 ▶▶▶10/31

鳥取県拉致問題等啓発月間

10月



北朝鮮による拉致問題の早期解決、松本京子さんをはじめとする拉致被害者の早期帰国を願い、拉致問題についての関心と認識を深めるため、鳥取県では10月を「鳥取県拉致問題等啓発月間」と定め県内各所で啓発イベント等を行います。

街頭啓発・署名活動

日時 10月1日(木)17:00～18:00

場所 鳥取駅

拉致問題啓発アニメ上映&ミニコンサート

北朝鮮による横田めぐみさん拉致事件を題材としたアニメ「めぐみ」の上映と山陰少年少女合唱団「リトルフェニックス」のミニコンサート

日時 10月4日(日)14:00～15:00

場所 イオン米子駅前店
(米子市末広町)

10/4

入場無料・申込不要

北朝鮮拉致問題啓発パネル展

日時 10月1日(木)～10月30日(金) ※土日祝を除く
8:30～17:15

場所 県庁第2庁舎1階ロビー(鳥取市東町)

日時 10月7日(水) 10:00～15:00

場所 とりぎん文化会館(鳥取市尚徳町)
(人権尊重社会を実現する鳥取市民集会会場内)

日時 10月15日(木)～10月22日(木) ※10/19を除く
火～金9:00～19:00 土日祝10:00～18:00

場所 米子市立図書館2階展示ギャラリー
(米子市中町)

日時 10月1日(木)～10月31日(土)
9:00～17:00

場所 鳥取県立人権ひろば21(鳥取市扇町)

日時 10月1日(木)～10月30日(金) ※10/8を除く
9:00～19:00 (土日月祝は9:00～17:00)

場所 鳥取県立図書館(鳥取市尚徳町)

日時 10月24日(土) 10:00～16:00
25日(日) 10:00～15:00

場所 米子コンベンションセンター立体駐車場付近
(米子市末広町)
(農と食のフェスタinせいぶ会場内)

ブルーライトアップ

期間 10月1日(木)～10月15日(木)

場所 米子コンベンションセンター
(米子市末広町)

期間 10月1日(木)～10月31日(土)

※10/16(金)～10/23(金)を除く
※日程は変更になる可能性があります

場所 風紋広場(鳥取駅前)

ラジオスポットCM

期間 10月 放送 エフエム山陰

デジタルサイネージ

期間 10月5日(月)～10月18日(日)

拉致問題の早期解決を願う国民のつどいin米子

場所 鳥取駅・倉吉駅・米子駅

10/31

日時 10月31日(土)13:00～15:00

場所 米子コンベンションセンター(米子市末広町)
〔サテライト会場(ライブ配信)〕
とりぎん文化会館(鳥取市尚徳町)・倉吉交流プラザ(倉吉市駄経寺町)

内容 ・拉致被害者等御家族の訴え(メッセージ)

・講演 北朝鮮による拉致被害者家族連絡会 事務局長

(拉致被害者 田口八重子さん長男)

・書道パフォーマンス(米子東高等学校書道部)

・拉致問題学習会発表(青翔開智中学校)

・合唱(山陰少年少女合唱団リトルフェニックス) 等

いづか こういちろう
飯塚 耕一郎氏



参加申込はこちらから

入場無料
要事前申込

拉致問題について

1970年代から1980年代にかけて、多くの日本人が不自然な形で姿を消しました。これらの事件の多くは、北朝鮮当局により拉致された疑いが持たれています。日本政府は17名を拉致被害者として認定していますが、この他にも拉致された可能性を否定できないケースがあります。

2002年9月に北朝鮮が日本人拉致を初めて認め、同年10月に5人の拉致被害者が帰国しましたが、他の被害者については、未だ北朝鮮から安否に関して納得のいく説明がありません。

北朝鮮当局による拉致は、誰でも突然連れ去られる可能性があった事件であり、拉致被害者家族だけの問題ではなく、国民すべての課題と言えます。解決を願う国民の声が大きな国際世論となり、松本京子さんをはじめとする拉致被害者の早期帰国への大きな力となります。

鳥取県内の拉致被害者等

【政府認定拉致被害者】

まつもと きょうこ

松本 京子さん（米子市出身、当時29歳）

1977(昭和52)年10月21日、自宅近くの編み物教室に向かったまま行方不明。

2006(平成18)年11月20日、政府が拉致被害者と認定。(全国で17人目、県内初)



【特定失踪者(拉致の可能性が指摘されている方)】

ふるいち みずこ

古都 瑞子さん（日南町出身、当時47歳）

1977(昭和52)年11月14日、米子市の自宅から普段着で出かけたまま行方不明。

自宅には旅行の切符やポケベルも置いたまま。



【特定失踪者(拉致の可能性が指摘されている方)】

やくら とみやす

矢倉 富康さん（米子市出身、当時36歳）

1988(昭和63)年8月2日、一人で出漁して行方不明。

元精密工作機械製作のエンジニアであった。



【特定失踪者(拉致の可能性が指摘されている方)】

うえだ えいじ

上田 英司さん（伯耆町出身、当時20歳）

1969(昭和44)年11月4日、「京都に行ってくる」と東京の下宿家主に行ったまま行方不明。

荷物は紙袋一つ。



【拉致の可能性を排除できない事案に係る方】

きまち はやと

木町 勇人さん（大山町出身、当時20歳）

1975(昭和50)年8月25日、京都府宇治市の下宿先を出て以降行方不明。



鳥取県拉致問題等の早期解決を目指す取組の推進に関する条例

鳥取県では、拉致問題が全面解決され拉致被害者の方々とご家族の一日も早い再会を実現するために、北朝鮮拉致問題早期解決促進鳥取県議会議員連盟の提案により、「鳥取県拉致問題等の早期解決を目指す取組の推進に関する条例」が令和7年12月25日に制定されました。条例では、県民のみなさまが拉致問題等に関する関心や理解を深めるとともに、県が実施する取組への協力に努めていただくよう定めています。

鳥取県拉致問題等の早期解決を目指す取組の推進に関する条例（抜粋）

- 県民（県内に所在する事業者を含む。）は、拉致問題等に関する関心及び理解を深めるとともに、この条例の目的を達成するために県が実施する取組に協力するよう努めるものとする。
- 県民は、拉致問題等の被害者又はその可能性のある者に関する情報を得たときは、速やかに、警察本部又は警察署に当該情報を提供するものとする。
- 県は、この条例の目的を達成するための取組を重点的に実施するため、鳥取県拉致問題等啓発月間を設ける。
- 鳥取県拉致問題等啓発月間は、10月1日から同月31日までとする。